⑵　運営費交付金債務の当期振替額の明細

①　21年度交付分　（単位：円）

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	49,246,907,202	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務において費用進行基準を採用している。 ②当該業務に係る損益等（運営費交付金財源） 損益計算書に計上した費用の額 49,246,907,202 （詳細については、各勘定の附属明細書を参照。） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 運営費交付金を財源とする業務費用を限度として収益化している。
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	49,246,907,202	
会計基準第81第３項による振替額		—	
合計		49,246,907,202	

②　22年度交付分　（単位：円）

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	106,902,262,710	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務において費用進行基準を採用している。 ②当該業務に係る損益等（運営費交付金財源） ア）損益計算書に計上した費用の額 106,902,262,710 イ）固定資産の取得額 90,550,971 （詳細については、各勘定の附属明細書を参照。） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 ア）運営費交付金収益 運営費交付金を財源とする業務費用を限度として収益化している。 イ）資産見返運営費交付金 固定資産取得額（償却資産）
	資産見返運営費交付金	90,550,971	
	資本剰余金	—	
	計	106,992,813,681	
会計基準第81第３項による振替額		—	
合計		106,992,813,681	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
21年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	17,299,969	○全ての業務において費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、研究開発委託事業等において、研究開発の進捗により、当該研究開発を年度内に終えることが困難になったこと等に伴い、運営費交付金の収益化額が計画を下回り、翌事業年度に繰り越したもの。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化する予定である。
	計	17,299,969	